



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 センコーグループホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9069 URL <https://www.senkogrouphd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 泰久  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報・IR担当 (氏名) 小久保 悟 TEL 03-6862-8842  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	572,405	0.4	21,520	4.2	22,230	7.2	14,240	17.9
2020年3月期	570,030	7.6	20,656	5.2	20,744	4.4	12,081	3.4

(注) 包括利益 2021年3月期 17,838百万円 (67.1%) 2020年3月期 10,677百万円 (1.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	93.81	78.40	11.0	5.6	3.8
2020年3月期	79.51	73.75	9.9	6.0	3.6

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 400百万円 2020年3月期 408百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	435,260	145,754	31.0	909.49
2020年3月期	356,308	134,181	35.1	823.61

(参考) 自己資本 2021年3月期 134,775百万円 2020年3月期 125,158百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	31,858	△46,309	36,757	50,371
2020年3月期	31,098	△18,030	△9,155	27,142

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00	3,969	32.7	3.2
2021年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00	4,219	29.8	3.2
2022年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00		30.7	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	304,000	11.2	11,100	15.1	11,100	13.6	6,500	13.5	43.86
通期	625,000	9.2	24,600	14.3	25,000	12.5	14,500	1.8	97.85

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後のものとなっております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期	152,952,221株	2020年3月期	152,861,921株
----------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期	4,764,111株	2020年3月期	898,113株
----------	------------	----------	----------

③ 期中平均株式数

2021年3月期	151,799,390株	2020年3月期	151,936,796株
----------	--------------	----------	--------------

2018年3月期第三四半期連結会計期間より、期末自己株式には、株式付与E S O P信託口の保有する当社株式（2021年3月期 341,740株、2020年3月期 348,880株）及び役員報酬B I P信託口の保有する当社株式（2021年3月期 348,873株、2020年3月期 352,988株）を含めております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	11,781	13.9	5,661	26.0	5,607	20.0	1,693	△57.6
2020年3月期	10,342	11.1	4,491	3.7	4,672	△0.7	3,995	8.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	11.16	9.29
2020年3月期	26.29	24.36

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	260,559	71,131	27.1	477.24
2020年3月期	216,568	76,630	35.2	501.42

(参考) 自己資本 2021年3月期 70,721百万円 2020年3月期 76,198百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、決算短信【添付資料】3ページ「今後の見通し」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績等の概況 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
(4) 事業等のリスク .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
連結損益計算書 .....	9
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更) .....	15
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18
4. その他 .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績等の概況

#### ①当期の経営成績の概況

当連結累計期間（2020年4月1日～2021年3月31日 以下「当期」）における経済環境は、新型コロナウイルス感染症による1回目の緊急事態宣言の解除後、徐々に経済活動が再開したものの、新型コロナウイルス感染症は再拡大を繰り返しており、非常に厳しい経営環境となりました。

このような中、当社グループは中期経営5ヵ年計画「センコー・イノベーションプラン2021（SIP21）」の4年目として、業績の回復と向上に努めてまいりました。

当期の主な取り組みは以下のとおりです。

物流事業においては、12月に、重量物の輸送事業などを行っている「株式会社UACJ物流」ならびに、化学品の保管、輸送、流通加工などを行っているナガセ物流株式会社（「センコーナガセ物流株式会社」に商号変更）をグループに迎えました。

物流センターは、センコー株式会社が7月に「立川物流センター」（東京都立川市）、2月に「栗橋PDセンター」（埼玉県加須市）を稼働させました。また、株式会社ランテックが4月に「門司支店」（北九州市門司区）で、3月に「名港支店」（名古屋市港区）で冷凍冷蔵倉庫を稼働させました。

海運事業では、センコー汽船株式会社が5月にケミカルタンカー「日扇丸」、日本マリン株式会社が8月にケミカルタンカー「吉祥」、3月にはセンコー汽船株式会社が貨物船「扇桜丸」を新造・就航させました。

海外では7月、ドイツ・デュッセルドルフ市に現地法人「Senko Logistics (Europe) GmbH」を設立し、欧州物流ネットワーク構築に向け体制強化に取り組みました。

商事・貿易事業においては、2月に家庭紙の卸売事業を行う「アズフィット株式会社」をグループに迎え、グループ内で同じく家庭紙卸売を行っているアスト株式会社との相乗効果を図ってまいります。

その他事業においては、8月に保育所や学童クラブなどを運営する「株式会社プロケア」を、11月に会員制の卸売・小売業を営む「寺内株式会社」をグループに迎えました。

また、デイサービス店舗などを運営する株式会社ビーナスは6ヵ所、住宅型老人ホームなどを運営する株式会社けいはんなヘルパーステーションは2ヵ所、回転寿司チェーンを運営する株式会社ライフイートは1ヵ所、新規出店をいたしました。

環境負荷低減への取り組みについては、センコー株式会社が日本物流団体連合会から、6月に「物流環境保全活動賞」「物流環境特別賞」を、11月に「令和2年度モーダルシフト取り組み優良事業者賞」を、12月には東京納品代行株式会社が国土交通省から「令和2年度交通関係環境保全優良事業者大臣表彰」を受賞しました。

当社は、10月に「国連グローバル・コンパクト」に署名し、参加企業として登録されました。当社は、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、腐敗の防止に関わる10の原則を支持し、人々の生活を支援する企業グループとして持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

当期の連結業績は以下のとおりです。

(百万円)

	前 期	当 期	増 減 額	増 減 率
営 業 収 益	570,030	572,405	2,375	0.4%
営 業 利 益	20,656	21,520	863	4.2%
経 常 利 益	20,744	22,230	1,486	7.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	12,081	14,240	2,159	17.9%

当期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けましたが、拡販、経費削減ならびにコスト改善・生産性向上にグループ全体で取り組むと共に、M&Aを推進した結果、連結営業収益、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前期を上回る結果となりました。

当期のセグメント別の状況は、以下のとおりです。

(物流事業)

(百万円)

	前期	当期	増減額	増減率
営業収益	392,728	387,350	△5,377	△1.4%
セグメント利益	17,847	19,401	1,554	8.7%

ディスカウントストア、ドラッグストアなどのチェーンストア関連の物量増がありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、住宅関連、ケミカル関連、学校給食・外食産業向けの冷凍冷蔵食品の物量などが大きく減少し、営業収益は3,873億50百万円と対前期比53億77百万円の減収となりました。利益面におきましては拡販、経費削減ならびにコスト改善・生産性向上に取り組むと共に、株式会社UACJ物流ならびにセンコーナガセ物流株式会社の連結子会社化などにより、セグメント利益は194億1百万円と対前期比15億54百万円の増益となりました。

(商事・貿易事業)

(百万円)

	前期	当期	増減額	増減率
営業収益	161,314	161,820	505	0.3%
セグメント利益	2,119	3,035	915	43.2%

宅配ニーズ増加に伴う日用品の販売増、家庭紙の価格是正の推進などにより、営業収益は1,618億20百万円と対前期比5億5百万円の増収、セグメント利益は30億35百万円と対前期比9億15百万円の増益となりました。

(その他事業)

(百万円)

	前期	当期	増減額	増減率
営業収益	15,987	23,235	7,247	45.3%
セグメント利益 又は損失(△)	1,419	△61	△1,481	—

株式会社プロケアならびに寺内株式会社の連結子会社化などにより、営業収益は232億35百万円と対前期比72億47百万円の増収となりました。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ホテル、フィットネスジム、デイサービス、飲食店などの利用者が大きく減少し、セグメント損失は61百万円と対前期比14億81百万円の減益となりました。

②今後の見通し

今後の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念もあり、先行き不透明な状況が続くものと思われます。

このような環境の中、当社グループは中期経営5ヵ年計画の最終年度を迎え、人々の生活を支援する企業グループとして、持続的な成長を図ってまいります。

次期連結業績予想は、連結営業収益6,250億円、連結営業利益246億円、連結経常利益250億円、親会社株主に帰属する当期純利益145億円を見込んでおります。

## (2) 財政状態に関する分析

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (総資産)

当期末における総資産は、4,352億60百万円となり、前期末に比べ789億52百万円増加いたしました。

流動資産は、1,638億91百万円となり、前期末に比べ396億80百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が240億51百万円、受取手形及び営業未収入金が83億27百万円、商品及び製品が46億21百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、2,713億69百万円となり、前期末に比べ399億84百万円増加いたしました。これは、投資その他の資産が26億11百万円減少したものの、有形固定資産が385億76百万円、無形固定資産が40億20百万円増加したことなどによるものであります。

## (負債)

当期末における負債合計は、2,895億6百万円となり、前期末に比べ673億79百万円増加いたしました。

流動負債は、1,337億15百万円となり、前期末に比べ220億76百万円増加いたしました。これは、短期借入金が72億15百万円減少したものの、支払手形及び営業未払金が33億97百万円、電子記録債務が20億27百万円、1年内償還予定の社債が70億70百万円、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が100億9百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、1,557億91百万円となり、前期末に比べ453億2百万円増加いたしました。これは、社債が129億52百万円、転換社債型新株予約権付社債が120億89百万円、長期借入金が190億48百万円増加したことなどによるものであります。

## (純資産)

当期末の純資産は、1,457億54百万円となり、前期末に比べ115億73百万円増加いたしました。これは、自己株式の取得により39億86百万円減少したものの、利益剰余金が103億1百万円、退職給付に係る調整累計額が24億29百万円、非支配株主持分が19億77百万円増加したことなどによるものであります。自己資本比率は前期末から4.1ポイント低下し、31.0%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ、232億28百万円増加し、503億71百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、318億58百万円の収入となりました。これは、税金等調整前当期純利益が226億2百万円、減価償却費が174億19百万円、減損損失が30億53百万円あったものの、負ののれん発生益が44億83百万円、法人税等の支払額として68億22百万円支出したことなどによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは463億9百万円の支出となりました。これは、有形固定資産の取得に336億18百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得に113億86百万円支出したことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、367億57百万円の収入となりました。これは、長期借入金の返済に145億10百万円、ファイナンス・リース債務の返済に44億65百万円、自己株式の取得に43億12百万円、配当金の支払額に39億67百万円支出したものの、長期借入れによる収入が215億66百万円、社債の発行による収入が421億10百万円あったことなどによるものであります。

## ③キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
自己資本比率 (%)	35.1	33.7	35.0	35.1	31.0
時価ベースの 自己資本比率 (%)	38.0	37.7	41.0	35.7	35.7
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	4.1	4.9	4.2	3.6	5.2
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	21.9	25.4	26.2	28.3	27.7

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価総値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を充実させるため、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施することを利益配分に関する基本方針としております。

この基本方針のもと、2021年3月期の期末配当金につきましては、1株当たり13円としておりましたが、年間の業績が順調に推移したことを勘案し、1株当たり15円とし、既に実施している中間配当金13円と合わせまして、年間配当金を28円とさせていただく予定であります。

2022年3月期の配当予想につきましては、業績予想を踏まえ、年間配当1株当たり30円（中間配当15円、期末配当15円）とさせていただく予定であります。

## (4) 事業等のリスク

最近の有価証券報告書（2020年6月25日提出）における「第一部企業情報 第2 事業の状況 2. 事業等のリスク」から、下記の追加すべき事項が生じております。なお、追加事項及び当該有価証券報告書については、次のURLからご覧いただくことができます。

追加事項（2021年3月期 第3四半期報告書 第一部企業情報 第2 事業の状況 1. 事業等のリスク 感染症等の疾病）

<https://www.senkogrouphd.co.jp/ir/pdf/20210212.pdf>

有価証券報告書

<https://www.senkogrouphd.co.jp/ir/pdf/20200625.pdf>

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応を検討してまいります。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,479	52,530
受取手形及び営業未収入金	74,361	82,689
電子記録債権	2,651	2,519
商品及び製品	8,368	12,990
仕掛品	679	316
原材料及び貯蔵品	567	651
その他	9,125	12,221
貸倒引当金	△21	△28
流動資産合計	124,210	163,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	145,107	169,354
減価償却累計額	△80,965	△89,153
建物及び構築物 (純額)	64,141	80,201
機械装置及び運搬具	67,912	77,660
減価償却累計額	△44,383	△52,603
機械装置及び運搬具 (純額)	23,528	25,056
工具、器具及び備品	9,333	10,384
減価償却累計額	△7,061	△7,995
工具、器具及び備品 (純額)	2,272	2,388
土地	61,669	81,628
リース資産	19,245	20,025
減価償却累計額	△6,173	△6,231
リース資産 (純額)	13,071	13,793
建設仮勘定	6,293	6,484
有形固定資産合計	170,978	209,554
無形固定資産		
のれん	7,762	10,689
その他	5,391	6,485
無形固定資産合計	13,154	17,174
投資その他の資産		
投資有価証券	17,662	17,398
長期貸付金	3,452	507
退職給付に係る資産	2,094	5,471
差入保証金	14,556	13,086
繰延税金資産	5,996	4,936
その他	4,269	3,647
貸倒引当金	△779	△407
投資その他の資産合計	47,251	44,640
固定資産合計	231,384	271,369
繰延資産		
開業費	713	0
繰延資産合計	713	0
資産合計	356,308	435,260

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	40,985	44,383
電子記録債務	6,559	8,586
1年内償還予定の社債	48	7,118
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	10,009
短期借入金	29,252	22,036
リース債務	3,673	4,253
未払法人税等	3,745	5,377
賞与引当金	5,433	6,247
役員賞与引当金	401	420
災害損失引当金	—	68
その他	21,537	25,211
流動負債合計	111,638	133,715
固定負債		
社債	17,072	30,024
転換社債型新株予約権付社債	10,019	22,108
長期借入金	55,839	74,887
リース債務	13,912	14,881
役員退職慰労引当金	201	260
特別修繕引当金	90	98
株式給付引当金	271	149
退職給付に係る負債	7,060	7,103
資産除去債務	1,145	869
その他	4,876	5,407
固定負債合計	110,489	155,791
負債合計	222,127	289,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,528	26,564
資本剰余金	29,770	29,806
利益剰余金	70,901	81,203
自己株式	△652	△4,638
株主資本合計	126,548	132,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	779	1,759
繰延ヘッジ損益	14	32
為替換算調整勘定	256	57
退職給付に係る調整累計額	△2,439	△10
その他の包括利益累計額合計	△1,390	1,839
新株予約権	432	410
非支配株主持分	8,590	10,568
純資産合計	134,181	145,754
負債純資産合計	356,308	435,260

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業収益	570,030	572,405
営業原価	503,687	500,653
営業総利益	66,342	71,751
販売費及び一般管理費	45,686	50,231
営業利益	20,656	21,520
営業外収益		
受取利息	110	71
受取配当金	143	148
持分法による投資利益	408	400
助成金収入	—	506
受取地代家賃	302	333
その他	1,250	1,472
営業外収益合計	2,216	2,934
営業外費用		
支払利息	1,099	1,171
為替差損	236	—
その他	792	1,052
営業外費用合計	2,128	2,223
経常利益	20,744	22,230
特別利益		
負ののれん発生益	—	4,483
固定資産売却益	58	488
資産除去債務取崩益	—	348
補助金収入	578	312
投資有価証券売却益	—	38
固定資産圧縮額戻入益	237	—
受取保険金	144	—
抱合せ株式消滅差益	51	—
退職給付制度終了益	46	—
特別利益合計	1,117	5,671
特別損失		
減損損失	210	3,053
開業費償却	—	560
新型コロナウイルス感染症による損失	—	494
固定資産圧縮損	564	337
固定資産除却損	159	310
投資有価証券評価損	113	277
災害損失引当金繰入額	—	68
事業所撤退損	—	60
固定資産売却損	—	56
貸倒引当金繰入額	—	36
関係会社貸倒引当金繰入額	208	29
災害による損失	—	15
子会社清算損	355	—
補助金返還損	237	—
関係会社株式評価損	189	—
和解金	117	—
訴訟和解金	55	—
特別損失合計	2,213	5,299
税金等調整前当期純利益	19,648	22,602
法人税、住民税及び事業税	7,009	8,195
法人税等調整額	102	△313
法人税等合計	7,111	7,881
当期純利益	12,536	14,721
非支配株主に帰属する当期純利益	455	480
親会社株主に帰属する当期純利益	12,081	14,240

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	12,536	14,721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△560	1,025
繰延ヘッジ損益	21	17
為替換算調整勘定	199	△354
退職給付に係る調整額	△1,519	2,429
その他の包括利益合計	△1,859	3,117
包括利益	10,677	17,838
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	10,078	17,476
非支配株主に係る包括利益	598	362

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	26,528	29,841	62,983	△697	118,656
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△3,967		△3,967
親会社株主に帰属する当期純利益			12,081		12,081
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		4		46	50
連結範囲の変動		42	△195		△152
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△119			△119
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△71	7,918	45	7,892
当期末残高	26,528	29,770	70,901	△652	126,548

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	1,350	△3	122	△920	548	424	7,265	126,895
当期変動額								
新株の発行					—			—
剰余金の配当					—			△3,967
親会社株主に帰属する当期純利益					—			12,081
自己株式の取得					—			△0
自己株式の処分					—			50
連結範囲の変動					—			△152
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—			△119
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△571	17	134	△1,519	△1,938	7	1,324	△606
当期変動額合計	△571	17	134	△1,519	△1,938	7	1,324	7,285
当期末残高	779	14	256	△2,439	△1,390	432	8,590	134,181

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	26,528	29,770	70,901	△652	126,548
当期変動額					
新株の発行	36	35			71
剰余金の配当			△3,971		△3,971
親会社株主に帰属する当期純利益			14,240		14,240
自己株式の取得				△4,312	△4,312
自己株式の処分		△0		326	325
連結範囲の変動			32		32
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		0			0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	36	36	10,301	△3,986	6,387
当期末残高	26,564	29,806	81,203	△4,638	132,936

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	779	14	256	△2,439	△1,390	432	8,590	134,181
当期変動額								
新株の発行					-			71
剰余金の配当					-			△3,971
親会社株主に帰属する当期純利益					-			14,240
自己株式の取得					-			△4,312
自己株式の処分					-			325
連結範囲の変動					-			32
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					-			0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	980	18	△198	2,429	3,229	△21	1,977	5,185
当期変動額合計	980	18	△198	2,429	3,229	△21	1,977	11,573
当期末残高	1,759	32	57	△10	1,839	410	10,568	145,754

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	19,648	22,602
減価償却費	15,565	17,419
のれん償却額	705	798
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	171	△78
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△139	△3,376
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△670	2,472
賞与引当金の増減額 (△は減少)	176	570
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	271	△121
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△103	68
受取利息及び受取配当金	△253	△220
為替差損益 (△は益)	67	△109
支払利息	1,099	1,171
固定資産売却損益 (△は益)	△52	△431
負ののれん発生益	—	△4,483
資産除去債務取崩益	—	△348
補助金収入	△578	△312
固定資産除却損	159	310
減損損失	210	3,053
開業費償却額	—	560
固定資産圧縮損	564	337
貸倒引当金繰入額	—	36
関係会社貸倒引当金繰入額	—	29
子会社清算損益 (△は益)	355	—
補助金返還損	237	—
固定資産圧縮額戻入益	△237	—
関係会社株式評価損	189	—
受取保険金	△144	—
和解金	117	—
訴訟和解金	55	—
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	△51	—
退職給付制度終了益	△46	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,866	△1,539
たな卸資産の増減額 (△は増加)	131	△682
未払債務の増減額 (△は減少)	1,572	1,947
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,317	551
未収消費税等の増減額 (△は増加)	545	△1,773
その他	△5	444
小計	39,013	38,895
補助金の受取額	578	312
和解金の支払額	△105	—
補助金返還額	△237	—
利息及び配当金の受取額	594	622
利息の支払額	△1,097	△1,150
法人税等の支払額	△7,645	△6,822
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,098	31,858
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,738	△2,069
定期預金の払戻による収入	3,934	1,803
有形固定資産の取得による支出	△17,449	△33,618
有形固定資産の売却による収入	1,182	1,455
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△11,386
差入保証金の差入による支出	△2,043	△987
その他	△916	△1,505
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,030	△46,309

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	212	334
長期借入れによる収入	5,210	21,566
長期借入金の返済による支出	△6,978	△14,510
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,924	△4,465
社債の発行による収入	—	42,110
自己株式の取得による支出	—	△4,312
自己株式の売却による収入	—	106
非支配株主からの払込みによる収入	803	—
配当金の支払額	△3,964	△3,967
非支配株主への配当金の支払額	△170	△169
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△152	—
その他	△191	65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,155	36,757
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	△157
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,958	22,149
現金及び現金同等物の期首残高	22,801	27,142
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	315	1,078
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	66	—
現金及び現金同等物の期末残高	27,142	50,371



(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、トラック輸送、鉄道利用輸送、海上輸送等の輸送サービスと物流センターでの保管・流通加工サービスを組み合わせ、顧客に最適で高品質・高効率な物流システムを構築し、提供する物流事業を中心とし、石油類販売事業、情報処理機器等の販売事業、貿易事業及びライフサポート事業、フードサービス事業等の事業を展開しております。

従って、当社グループ事業の事業内容及び相互関連性に基づき、「物流事業」、「商事・貿易事業」、「その他事業」の3つの区分に分類しております。

「物流事業」は、自動車運送事業、鉄道運送事業、海上運送事業、国際運送事業、倉庫業、荷主の構内における原材料及び製品の包装・移動等の作業、物流センターの運営等を主なサービスとしております。

「商事・貿易事業」は、石油販売、商事販売及び貿易事業を主なサービスとしております。

「その他事業」は、ライフサポート事業、フードサービス事業、情報処理受託業等を主なサービスとしております。

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	392,728	161,314	15,987	570,030	—	570,030
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	2,510	12,032	9,796	24,339	△24,339	—
計	395,238	173,347	25,784	594,370	△24,339	570,030
セグメント利益	17,847	2,119	1,419	21,387	△730	20,656
セグメント資産	278,028	50,408	18,907	347,344	8,964	356,308
その他の項目						
減価償却費	13,436	262	872	14,571	994	15,565
減損損失	182	—	27	210	—	210
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	22,693	288	1,812	24,793	2,319	27,112

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△730百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額8,964百万円には、管理部門に対する相殺消去△6,628百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産15,592百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社での余資運用資金(定期預金等)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額994百万円は、各報告セグメントに配分していない管理部門に係るものであります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額2,319百万円は、各報告セグメントに配分していない管理部門に係るものであります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	387,350	161,820	23,235	572,405	—	572,405
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	4,580	11,683	10,059	26,323	△26,323	—
計	391,930	173,503	33,294	598,729	△26,323	572,405
セグメント利益 又は損失(△)	19,401	3,035	△61	22,375	△855	21,520
セグメント資産	318,064	65,645	44,196	427,906	7,354	435,260
その他の項目						
減価償却費	15,049	231	1,130	16,412	1,007	17,419
減損損失	262	—	2,790	3,053	—	3,053
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	26,437	743	10,836	38,017	1,351	39,368

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△855百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (2) セグメント資産の調整額7,354百万円には、管理部門に対する相殺消去△7,928百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産15,283百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社での余資運用資金(定期預金等)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額1,007百万円は、各報告セグメントに配分していない管理部門に係るものであります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,351百万円は、各報告セグメントに配分していない管理部門に係るものであります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

#### 4. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

「物流事業」セグメントにおいて、センコーナガセ物流株式会社の株式を新たに取得したことに伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当連結会計年度においては150百万円であります。

「商事・貿易事業」セグメントにおいて、アズフィット株式会社の株式を新たに取得したことに伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当連結会計年度においては988百万円であります。

「その他事業」セグメントにおいて、寺内株式会社の株式を新たに取得したことに伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当連結会計年度においては3,310百万円であります。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	823円61銭	909円49銭
1株当たり当期純利益	79円51銭	93円81銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	73円75銭	78円40銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	12,081	14,240
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	12,081	14,240
普通株式の期中平均株式数(千株)	151,936	151,799
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	△6	△7
(うち社債利息相当額(百万円))	(△6)	(△7)
普通株式増加数(千株)	11,783	29,749
(うち新株予約権(千株))	(999)	(934)
(うち転換社債型新株予約権付社債(千株))	(10,784)	(28,815)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要		—

(注) 株式付与E S O P信託及び役員報酬B I P信託が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度701千株、当連結会計年度690千株)。

また、「1株当たり当期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度703千株、当連結会計年度712千株)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

### (1) 役員の変動 (2021年6月25日付)

#### 1. 新任取締役候補者

新役職名	氏名	現役職名
取締役 国際事業担当 (兼) センコー(株) 代表取締役副社長執行役員 AEO担当 (兼) 国際物流事業本部長 (兼) ロシア・中央アジア エリア事業担当部長	高梨 利雄	センコー(株) 代表取締役副社長執行役員 AEO担当 (兼) 国際物流事業本部長 (兼) ロシア・中央アジア 事業担当部長
取締役	奥野 史子	びわこ成蹊スポーツ大学 客員教授 (兼) 大阪経済大学 客員教授 (兼) 日本水泳連盟 アスリート委員 (兼) 京都市教育委員会 教育委員

※奥野史子氏は、社外取締役候補者であります。

#### 2. 新任監査役候補者

新役職名	氏名	現役職名
常勤監査役 (兼) センコー(株) 監査役	上中 正敦	取締役
監査役	岡野 芳郎	アーク有限責任監査法人 社員 (パートナー)

※岡野芳郎氏は、社外監査役候補者であります。

#### 3. 退任予定取締役

新役職名	氏名	現役職名
アスト(株) 取締役会長 (兼) アズフィット(株) 取締役会長	村尾 進一	取締役 (兼) アスト(株) 取締役会長 (兼) アズフィット(株) 取締役会長

#### 4. 退任予定監査役

新役職名	氏名	現役職名
(退任) 監査役	松原 圭治	常勤監査役 (兼) センコー(株) 監査役
センコー(株) 監査役	安光 幹治	常勤監査役 (兼) センコー(株) 監査役

以上